

令和8年度 第1回

関市総合計画審議会 会 議 録

(令和8年7月24日)

第1回関市総合計画審議会

1 日 時

令和8年7月24日(金曜日) 午後1時30分 ～ 午後3時00分

2 場 所

関市役所 6階 6-6, 6-7会議室

3 出席者

委員(14名)

(敬称略、順不同)

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	西部 美晴	関市教育委員会
1号委員	山田 達史	関市農業委員会
2号委員	長尾 富美雄	関市老人クラブ連合会
2号委員	○中嶋 亘	関市自治会連合会
2号委員	北瀬 美幸	関市社会福祉協議会
2号委員	清水 妙子	関市地域女性の会連合会
2号委員	北瀬 茂樹	関青年会議所
2号委員	森 武司	関市消防団
2号委員	長谷川 尚彦	関市観光協会
2号委員	小野木 卓	関市スポーツ協会
2号委員	塚原 千恵	関市文化協会
2号委員	村井 義史	せき市保育会
3号委員	◎飯尾 良英	中部学院大学
4号委員	村瀬 光昭	関信用金庫

◎:会長、○副会長

事務局(関市 6名)

市長 山下 清司

市長公室長 杉山 安宏

企画広報課 長屋 高浩 和田 正樹 庄司 知史 中村 伸彰

4 欠席者

委員(5名)

(敬称略)

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
2号委員	小見山 知香	関市 PTA 連合会
2号委員	大野 武志	岐阜県関刃物産業連合会
2号委員	各務 剛児	関商工会議所
3号委員	江崎 由里香	岐阜医療科学大学
4号委員	野田 哲貴	公募

5 次 第

1 開会

2 委員委嘱

3 市長あいさつ

4 市長から審議会への諮問

5 会長あいさつ

6 議題

議題1 関市第 6 次総合計画に関する諮問について

議題2 関市第 6 次総合計画の策定について

(1)総合計画策定の趣旨

(2)第 5 次総合委計画の振り返り

(3)第 6 次総合計画の策定に向けて

(4)今後の審議会のスケジュール

議題3 基本構想に関する意見交換

7 閉会

(午後 1 時 30 分 開会)

○事務局

関市総合計画審議会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます、企画広報課の長屋と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議に先立ちまして、関市地域女性の会連絡協議会会長・清水妙子様、関市農業委員会会長・山田達史様、関市保育会会長・村井義史様が新たに委員として就任いただくこととなりました。これより市長から委嘱状を交付させていただきます。

(市長から一人ずつ委嘱状交付)

続きまして、市長よりご挨拶申し上げます。

○市長

皆様、こんにちは。連日暑い日が続いております。そんな中、市役所の方にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。それぞれの立場で市政に対しまして、大変ご尽力いただいておりますことにつきましても、感謝申し上げたいというふうに思います。ありがとうございます。

またこの総合計画審議会につきましては、委員の皆様、今ほどお二人に委嘱状をお渡ししましたが、新たに 3 名の方がお変わりになりました。他の委員のみなさまには令和 7 年 1 月から本会議にご協力いただいておりますことにつきましても感謝申し上げたいというふうに思います。

ご承知のように、第 5 次総合計画が令和 9 年度で終了するというところでございます。10 年度から第 6 次総合計画をスタートするというところでございますので、今現在、それに向けて企画広報課の方でもですね、いろいろ段取りやら、地域で今、ご意見を承る、あるいはアンケートも実施をして、市民の皆様の声を受け止めているところでございます。

私も一部の地域みらいトークで、市民の皆様とお話をさせていただいているところでございますが、こういったことに関心を持っていただくことは、今難しい状況にあります。

しかし、ご承知のように人口減少というのは、ポツリポツリと、進んでおりまして、教育の関係でいきますと、この 3 月にですね、板取の小学校が閉校し、来年の 3 月には上之保の小学校も閉校するというところで、旧の板取村、上之保村にあった小学校、中学校、そして保育園もなくなっていくという状況になります。

そうした状況が、過疎地域から、だんだん市街地の方へ押し寄せてきているというようなことが、現実でございます。合併して 21 年になるわけでございますが、過疎地がそういう厳しい現実になっているということです。

それを食い止めるにはやはり、若者が流出をしていっているということになるかと思えます。子供たちが生まれない。少子化ということが、その原因の一つだということで。手厚い教育や子育て支援ということに心がけているわけでございますが、なかなか成果というものが、目に見えてこなかったところがございます。

ところが、最近でございますが、総合計画にいうところの目標人口に対して昨年度でいきますと、544 人目標人数よりも下回った結果になっておりました。これは総人口ということでございますが、目標では 8 万 3799 人、2025 年度ベースでその目標を描いてお

りましたが、結果としては 8 万 3255 人ということで、総人口としては、今申し上げた、544 人のマイナスだったということでございます。

しかしながら、いわゆる若年層と言いますか、0 歳から 39 歳までの若い世代につきましては、2023 年度にプラスに転じておりまして、その後、25 年度も若干その世代が増加傾向にあるという嬉しい数字が出ております。

これは、居住誘導区域や市街地での区画整理であったりとか、保育園の整備であったりとかですね、子育て支援窓口等もそうでございますが、民間ベースでもショッピングセンターなどができて、暮らしやすいということと。そしてソフト的な、子育て支援とか、ご評価いただいているんじゃないかなと思います。

このあたりをしっかりと関市民にも認識いただき、お隣の自治体にいらっしゃるような方、お隣の自治体から関へ転入していらっしゃっているような方々が、お知り合いの方に口コミでこういったことを伝えていただけると、確実に増えていくんじゃないかなというふうに思います。

そういった意味で、こう居住誘導していくところは増えていっているけれども、過疎のところはまた過疎が深刻になっているという、こう二極化をしております。

ですからとにかく、旧関の市街地の部分でしっかりとダムのように、流出を食い止めていくということが大事じゃないかなと思います。

次の第 6 次総合計画というのは、さらにしっかりとしたビジョンを描いていかなければと思っております。

令和 8 年、9 年で基本構想なり、基本計画という形で、審議会の皆様には慎重なご審議を賜りたいということを考えております。後ほど諮問書をお渡しさせていただきますが、何卒、皆様の豊富な知見、ご経験をしっかりとこの計画に反映していただきたいと思っておりますので、お世話になりますけれども、どうかよろしくお願いいたします。

○事務局

ここで、本日の会議の定足数を確認させていただきたいと思っております。今回の委員総数は 19 名でございます。本日ご欠席の委員は、山田委員、小見山委員、大野委員、各務委員、江崎委員、野田委員の 5 名でございます。ご出席の委員は 14 名でございますので、過半数に達しております。よって、関市総合計画審議会設置条例第 6 条第 2 項の規定によりまして、本日の審議会は成立するということを報告させていただきます。

それでは、次期総合計画の策定にあたり、山下市長から関市総合計画審議会の飯尾会長に対し、諮問をさせていただきます。

(市長より諮問書の受領)

○事務局

ありがとうございました。飯尾会長におかれましては自席の方へお戻りいただきたいと思っております。恐れ入りますが、市長は公務のため、ここで退席させていただきます。

(市長退席)

それではここで、会議の議事につきましては、関市総合計画審議会設置条例第 5 条第 3 項の規定によりまして、飯尾会長にお願いしたいと思っております。会長におかれましては、ご挨拶をいただくとともに、以後の議事進行をお願いしたいと思っております。

それでは、よろしくお願いいたします。

○会長

皆さんこんにちは。ただいまの暑い中、ご苦勞様でございます。

ただいま市長の方から関市第6次総合計画の諮問をいただきました。大変な役割をいただいたということで、皆様方と一緒に計画検討してまいりたいと思います。

会長として皆様方の意見をできるだけまとめて、計画に反映させていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日も40度を超え、大変気温が上昇してきております。地球温暖化というものは、今年だけではなくこれからずっと続いていくのではないかと思います。

この社会、世の中は急激な勢いで変化をしていっていると思います。今日もニュースの中で、生成AIの企業での普及率が60何パーセントということでした。このAIの普及は、私も大学で携わっておりますけれど、この半年間にもものすごいスピードで普及をしてまいりました。かように、いろいろなものが変化をしていると思います。

人口減少も少子化も、これからすぐに止まるということはないと思います。もちろん努力はしていくわけですが、その新しい時代をどう私たちが描いていくのかということが、とても大切になってきていると思いますので、そこにはアイデアと言いますか、皆様方の柔軟な思考が大切になりますし、より多くの皆様の意見を聞きながら、まとめていくということも、必要になるといいます。

どうか、それぞれの分野の専門の皆様方にお力をお貸しいただいて、いい計画にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは着座して進行させていただきます。議題1関市第6次総合計画に関する諮問について事務局説明をお願いします。

(事務局説明)

○会長

現時点で質疑等はございますか。

(発言なし)

それでは、議題1を終了いたします。続いて議題2第6次総合計画の策定状況について事務局説明をお願いします。

(事務局説明)

○会長

それでは、事務局の説明内容に対して、ご質問、ご意見はございませんか？

それでは、私から組織図についてですが、私たちの「審議会」と「策定本部」や「市民会議」との関係性が矢印でつながっていません。どのように連携するのですか？

○事務局

事務局が各会議の間に入り、情報を集約します。「未来デザイン会議」等の市民の声は、策定本部で施策として検討した上で、素案として本審議会にお諮りし、専門的な立場からご審議いただくという流れになります。

○委員

ワークショップ等の開催場所ですが、市役所だけでなく、板取や上之保といった周辺地域へも直接出向いてください。特にお出かけが難しい高齢者の方々の声を吸い上げる工夫をお願いします。

○事務局

昨年度に企画広報課が地域にお邪魔する格好で地域版ミライと一くを実施しております。施策策定後も地域別の懇談会や各地区のふれあいセンター活用を積極的に検討してまいります。

○会長

続いて、議題3基本構想に関する意見交換について事務局説明をお願いします。
(事務局説明)

○会長

これらを踏まえ、各委員から基本構想に関する発言をお願いします。

○委員

関市には「核」となるものがない。市全体でなく、地域毎に課題や将来像を考えないといけない。

下有知は世帯数が増加しているが、自治会加入率はまもなく50%を切る。50%を切った場合、自治会加入者が少数派ということになり、強い危機感を持っている。関市には関鍛冶伝承館はあるが、現代刃物の博物館はない。ウナギ横丁もない。例えばこれらの機能を本町に作ってはどうか？

○委員

上之保の実家がある集落は世帯数が0となった。今住んでいるところも高齢化が進んでいる。しかしながら、老人会への新規加入者少ない。

この前、自治会の老人会で40人ほど集まった。南ヶ丘地区は、人口増えない。もうすぐ学校も閉校となる。保育園はもう少し続くが、将来的には閉園することとなると思う。過疎をどう食い止めるか重要である。

○委員

トランプ関税から1年。産業にとっては大変な1年であった。先ほど会長のあいさつにもあったが、酷暑が続いている。関は、美濃より暑いはず。気象庁の観測所を作って無料で市のPRができればよいと思う。

交通の便について、そろそろ長良川鉄道への資金充当を廃止しその資金を高速バスなどへ投資するタイミングに来ていると思う。市民意見の SWOT 分析にもあるように、強みや機会を活かして例えば、高速、地域内バスに投資を強化することがまちの維持に繋がるのだと思う。

ふるさと納税の寄附がどのように使途を選択されているのか公表してほしい。

過疎地の問題、行政サービスの効率化を進める必要がある。ただし、行政が行っている事業は全てにおいて効率化を求めるものではないと思う。各事業に対して「選択」と「集中」をし、どの事業を残すのかを考えなければならないと思う。

○委員

今日メイラのバレーボールチームが全国大会に出場した。平均年齢 30 歳くらい。応援に来ていた家族などをみて、みんな関市に住んでいたらと思った。私の自治会にも最近数件 30 代の世代が家を建てた。各地域の人口推計をみると増加している地域の特徴は区画整理事業や分譲地が多い地域のような気がする。きれいな家が建てられることが、若者が住むことの条件なのではと思う。例えば空家は活用でなく、新築を建てられる土地を確保するための解体促進が必要ではないかと思う。

○委員

富岡地区は環境が整備されてきて商業施設も進出しており人口が増えている。一方、安桜や旭ヶ丘地区は家を建てる場所がないため人口が増えていないと感じる。

「もしも私が市長だったなら？」のアンケート調査に回答してみた。この分野の予算を増やすとこの分野の予算を大きく減らすことになるなど予算の配分がとても難しかった。
・関市の施策は素晴らしいと思うが、アピール力が弱いと思う。

○委員

ふるさと納税が潤沢なことは素晴らしい。貯蓄に回っているときいているが、今あるうちに効率的に使うべきではないかと思う。

ふるさと納税の手数料がもったいない。独自のシステムを開発し、システム手数料の削減につなげてはどうか？

○委員

文化協会の会員数 500 人を切った。平均年齢は 70 歳を超えている。5年前に元々私が所属していた武儀の文化協会は関市に統合された。伝統を繋いでいくための人材が不足している。まわりの年下の子に聞くと、生活が大変で文化に携わる時間がないと聞く。時間のゆとりができるよう支援してあげる必要があるのではないかと感じている。

郡部の子が旧関に住み、伴って郡部の子育ての環境はどんどん悪くなっているように思う。

○委員

消防団の団員数が減少している。とくに郡部は減少が激しい。酷暑時の災害は怖い。この時期に川の事故などがあると、団員数が減少している郡部の団が対応することになる。消防団の認知向上を図ってほしい。構成人数も減ってきている。

○委員

関信用金庫の新卒採用。昔は、ほとんど関市在住者であったが今は市外出身の人が多数を占めている。

住宅施策で人口増があるのであればそこに力を入れるべき。住宅ローンの利子補給などを実施してはどうか？

○委員

保育園で未満児を預かる件数が増加している。若い親さんは共働きしているということがよくわかる。これも時代の変化である。

地域の事業は色々あると思うが、市が示している公立保育園の廃止を含めた計画は、保育会としての総意である。市全体の子育て環境のことを考えてほしいと思う。

○委員

地域女性の会も年齢が高くなっているが、みんなとても元気。

元気なお年寄りをどう活躍させるか。する場を整えるかがとても重要である。

若い人が来たいと思うまちにしていくな必要があるし、そんな姿をみたい。

○委員

若者も重要であるが、高齢者についてもクローズアップすべき。

各地域の人が自分の、自分の地域の課題に向き合っている。

個人的な意見であるが長良川鉄道について、私も撤退すべきであると思う。

○会長

本日は大変活発なご意見をありがとうございました。関市の魅力を再認識いたしました。事務局には意見をしっかりと整理し、素案に反映させるようお願いします。

○事務局

貴重な提言を数多くいただき感謝いたします。追加の意見は「意見提案シート」またはWebにて受け付けます。

最後に、委員の皆様の任期は12月末までとなっておりますが、計画策定の本格化に伴い、2年間の任期延長をお願いしたいと考えております。詳細は後日改めてご連絡いたします。

○会長

委員の皆様には引き続き知恵を絞っていただきたく、よろしくお願いします。

○事務局

以上をもちまして、令和8年度 第1回 関市総合計画審議会を終了いたします。次回の第2回審議会は12月22日(火)午後を予定しております。本日はお疲れ様でした。

(午後 3 時 00 分 閉会)